

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	English F		
英文授業科目名	English F		
開講年度	2004年度	開講年次	2年次
開講学期	4学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I		
開講学科・専攻	量子・物質工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	本多 幸七郎（学内連絡教官 佐藤 美弥子）		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ
honda@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
Hollywood映画を題材としたテキストを使って、英語のリーディング能力とリスニング能力アップさせ、イギリスとアメリカの文化に対する理解を深めることを目的とする。

【前もって履修しておくべき科目】
なし

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：Hollywood Dialogs（朝日出版社）

【授業内容とその進め方】
テキストは12のユニットで構成されているが、必ずしもユニット1から始める必要が無いので、学生諸君の好みに合わせてユニット選び、授業を進めていく。まずビデオの映像を見て、それに関するExerciseをこなした後、ビデオのスクリプトを読みながら答えの確認をしていく。スクリプトは学生諸君が音読して、内容の解釈をした後、教師がその解釈の補足、修正を行う。授業2回で1つのユニットをこなすことを目標とするが、なれてくれば徐々にスピードアップをする。

電気通信大学 平成16年度シラバス

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末試験および演習・宿題の結果と出席状況，授業態度等を総合的に評価するが，割合は次のようになる。

成績評価 演習・宿題 20%
出席，授業態度 20%
期末試験 60%

なお，遅刻は原則として、授業開始20分までとし、遅刻3回で1回の欠席と見なす。欠席は全体の3分の1で期末試験の受験資格を失うので注意すること。

【オフィスアワー：授業相談】

火曜日 12：10から13：00

【学生へのメッセージ】

当たり前の話だが予習は必須。各ユニットで取り上げる映画はあらかじめ見て置くことが望まれる。

【その他】